

コロナに負けずにがんばろう！

新
し
い

ちいき かつどう
地域活動
スタイル

～大切な“地域のつながり”を守り続けるために～

みんなで作る！「新しい地域活動スタイル」

市内各地域や他都市で工夫して取り組まれている地域活動の事例や、皆さんから寄せられた工夫された地域活動の事例をまとめています。

活動別の工夫・アイデア事例 【目次】

地域活動の運営

◆会議	-1-
◆情報共有	-1-
◆運営方法	-2-

交流・親睦活動

◆地蔵盆	-3-
◆イベント・おまつり	-4-
◆子どもが参加する活動	-5-
◆高齢者の見守り	-5-
◆運動を伴う活動	-6-
◆防災訓練	-6-
◆その他の活動	-6-

地域活動を支える基本的な取組です。これまでどおりの方法でなくとも、様々な工夫を行って取組を進めていきましょう。

◆会議

- LINEのビデオ通話を使って役員会をしています。資料は事前にメールで送っています。
- ZOOMを使って役員会をしています。事前にZOOMの使用方法を書いた手順書を配布しました。
- スマホLINE講座やスマホZOOM勉強会を実施し、まずは役員で使えるようになりました。

◆情報共有

- LINEを活用した情報共有の仕組みを作り、回覧を減らしています。
- 若い世代にSNSの使い方を教わり、地域情報の共有などに活用しています。
- 希望する世帯には、紙で発行していた「町会便り」をメールで配信しました。
- 集まりができないため、エレベーター内に掲示するなど、例年よりこまめに情報を発信しました。
- 感染予防のため、対面での情報共有は概ね3人程度とし、それ以外は電話、FAX、メール、LINEなどそれぞれの連絡網を使用しました。



地域活動を支える基本的な取組です。これまでどおりの方法でなくとも、様々な工夫を行って取組を進めていきましょう。

◆運営方法

- 感染者が出た場合の対応をスムーズにするため、10人以上参加する集まりは、事前に代表者へ報告することにしました。
- 活動が休止になった期間に、次年度に向けて負担が減るような運営体制に見直しました。
- 活動が休止になった期間に、活動への関わり方や防災に関するアンケートを実施しました。
- オンラインの会議開催が可能かを検討するため、全町内会長にアンケートを実施しました。
- 地域の行事・活動をマニュアル化し、マニュアルデータをネット上に保管することで、関係者が誰でも見れる環境を整え、引継書としても活用しています。
- 3月下旬に実施している新旧町内会長会議について、対面とオンラインのハイブリッド開催ができるよう、自治会館にWi-Fi環境を整える予定です。



住民同士のつながりを深める大切な交流の機会です。集まり方や交流の仕方などに十分留意したうえで、住民同士が交流できる機会を持ちましょう。

◆地蔵盆

- 集まって読経を行わない代わりに、お寺が配信された法要の様子を動画で見ました。
- 供養品は、マスクとエコバッグをセットにして各世帯のポストに投函しました。
- 子どもに絵を描いてもらい、その絵で行燈を作りました。
- 地蔵盆について説明したプリントを子どもに配布しました。
- 学区で地蔵盆の開催を統一することになり、僧侶の読経は行うが、住民は集まらず、子どもにお菓子等のみ配布しました。
- 簡素化する代わりに、町内会員であるホテルのお風呂利用券を配布しました。
- 簡素化する代わりに、町内の八ッ橋工場のお菓子を配布しました。
- 回覧でお花などの提供を呼びかけたところ、多数のお花や賽銭が集まり、地蔵堂をきれいに祀ることができました。

【動画】壬生寺の松浦俊昭副住職による地蔵盆のお話。



「京の地蔵盆」ホームページより

住民同士のつながりを深める大切な交流の機会です。集まり方や交流の仕方などに十分留意したうえで、住民同士が交流できる機会を持ちましょう。

◆イベント・おまつり

- 集まって開催していたイベントの代わりに、個人で参加できるスタンプラリーを開催しました。また、コミュニティラジオで地域活動を紹介しました。
- 納涼祭では飲食提供をやめて、打上げ花火を実施しました。
- 集まって行う予定だった子育てイベントを、ZOOMとインスタグラムを使って配信しました。
- 集まって行う予定だった講演会を、遠方居住の講師に依頼しオンラインで実施しました。
- 毎年集会室で行っていた七夕まつりは、全世帯に七夕の短冊を配り、マンション入り口に設置した笹に各自飾り付けを行う形に変更しました。
- マンション内で開催したハロウィンイベントでは、開始時間を2部制とし、参加人数を分散しました。
- クリスマスの夜に、サンタクロースに扮して、子ども達のお宅を訪問してプレゼントを渡しました。
- 毎年、地域で実施している講演会をオンラインで開催するにあたり、参加住民向けのZOOMの使い方講座を開催する予定です。



住民同士のつながりを深める大切な交流の機会です。集まり方や交流の仕方などに十分留意したうえで、住民同士が交流できる機会を持ちましょう。

◆子どもが参加する活動

○感染拡大期には子ども食堂をお弁当の配布に変更しましたが、9月から、感染対策を講じて再開しています。

○8月に、小学校体育館で映画上映会を実施しました。学年ごとに時間帯を分け、入替えのたびに座席を消毒しました。また、熱中症対策として、通路に氷柱を並べました。

○共用するはさみや色鉛筆の使用を中止し、問題プリントのコピーや折り紙を配布しています。

○こども向けイベントの代わりに、学区で図書カードを配布しました。登下校の見守りの際に図書カードの使い道などをきっかけに、児童と交流できるようになりました。



◆高齢者の見守り

○見守り活動は、電話や戸内に入らない訪問に変更して実施しています。

○独居老人の見守りを兼ねて、市民しんぶんを手渡ししました。

○独居老人の見守りを兼ねて、学生の描いたアマビエの絵を手渡ししました。

○敬老の日のお祝いを渡して、訪問活動を再開しました。

住民同士のつながりを深める大切な交流の機会です。集まり方や交流の仕方などに十分留意したうえで、住民同士が交流できる機会を持ちましょう。

◆運動を伴う活動

- 高齢者向けの屋外での健康体操は、動画配信を試行しています。
- 2ヶ所に分かれ、オンラインで中継しながら体操教室を実施しました。
- 体育祭の代わりに、参加人数を制限したウォークラリーを行いました。



◆防災訓練

- 緊急時に分散避難が必要となるため、避難訓練の内容を変更しました。
- 防災訓練の代わりに、“各戸でできる防災訓練”のチラシを作成し、回覧しました。
- コロナ禍を想定した避難所運営訓練について、密集を避けるために、役員のみで実施しました。
- 炊出し実施の際、調理者と参加者の間にパーテーションを設置しました。
- 災害時の感染拡大を防ぐため、体調不良者用の避難場所を確保しました。
- 防災訓練で、コロナ禍における避難所運営での課題の洗い出しを行いました。

◆その他の活動

- 地域の美化活動は、5月までは役員のみで実施していましたが、6月以降はマスク着用の上、ソーシャルディスタンスを保って、住民全員で実施しています。
- 活動が中止となったため、昨年度実施した活動の動画をインターネット上で公開しました。
- 講習会で、コロナ禍のAEDの扱い方について学びました。